

レクリエーション講習会

6月22日（木）、生活文化科の3年生35名が、レクリエーションについて学びました。講師に恵那市レクリエーション協会の方をお招きしました。

最初は、緊張した様子でしたが、手や脳、体を動かすうちに自然と笑顔が溢れ、大変楽しい講習会となりました。左右の手で異なる動作をしたり、人数集めをしたり、頭を使い心を通わす活動を多く教えていただきました。

座った活動、立っての活動など、様々な身体状況に対応して活動できることを、学びました。子どもから大人まで幅広い年代の方に楽しんでいただけることを、体験を通して学びました。今後の交流会に活用していきたいと思います。



【生徒の感想】

- 違う人ともペアで活動することができたりするのでいいと思ったし、保育園などでも活用できると思いました。
- 体を動かして交流することで、座っていたときよりも笑顔になるし、交流を深められるので、いいなと思いました。顔にシールを貼るゲームがすごく面白くて、シールの数だけ交流できた印にもなっていていいなと思いました。
- 1時間ずっと笑ったり、動いたり、すごく楽しい時間でした。体や頭を使って、自然に笑顔になれるので、いろいろな人と楽しめるなと思いました。
- 道具が必要ではないので、いつでもできるので、またやりたいし、家族にも教えてあげたいと思いました。
- 指導をしてくださった先生が、いつでも笑顔で楽しそうに教えただけ、私たちも笑顔で活動することができました。人を楽しませるためには、自分も笑顔でいることの大切さを改めて感じました。
- 座った状態や、立った状態など様々な身体状況に応じて遊び、活動を学ぶことができたので、今後の交流会に活用できると思いました。
- 最初は、どんなことをやるのだろうと緊張していましたが、最後には、いつの間にかみんなが笑顔になっていました。気付くと面白くて、本気になってゲームをしていた自分がいました。